

松島町教育委員会会議議事録（令和6年7月定例会）

- 1 招 集 月 日 令和6年7月26日（金曜日）
- 2 招 集 場 所 松島町役場庁舎3階 301会議室
- 3 出 席 者 内海俊行教育長、鈴木康夫委員（教育長職務代理者）、佐藤晴子委員、櫻井智恵委員
- 4 欠 席 者 小澤晴司委員
- 5 説明のため出席した者
千葉忠弘教育次長、蜂谷文也課長、松村武文学校教育班長、森田義史町史編さん室長、赤間香澄中央公民館長、熊谷賢学校給食センター所長、永沼昌一教育指導専門員、金津晶子学校教育班主査
- 6 議 事 日 程
 1. 開会 令和6年7月26日（金曜日）午前9時45分 開会 （録音開始）
 2. 前回委員会の議事録の承認
 3. 議事録の署名委員の指名 鈴木委員・佐藤委員
 4. 報告事項
 - (1) 一般事務報告
 - (2) 教育長報告
 5. 協議事項
 - (1) 令和6年度（令和5年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告書に係る教育に関し学識経験を有する者の知見の活用について
 - (2) 令和6年8月定例会について
日程案：令和6年8月30日（金）午前9時30分 松島町役場3階 303会議室
 6. 閉会

7 議 事 録

1. 開会 午前9時45分

〔金津主査〕皆さんおはようございます。（「おはようございます」の声あり）

ただいまより松島町教育委員会令和6年7月定例会を開会いたします。

開会の挨拶を内海教育長、お願いいたします。

〔内海教育長〕はい。おはようございます。（「おはようございます」の声あり）

子どもたちのほうも夏休みに入って、事故なく暮らしているということで、各学校から報告が上がっております。経験の拡大で、いろんな経験させてくださいということで、校長のほうには伝えておきました。多分いろんな行事に参加しているんだと思います。

役場のほうでは、教育委員会主催のこども英語ガイド、スタートしました。昨日はこけしに絵付けをする動画を撮って、明日は大仰寺に行って動画を撮るということで、かなり気合いが入っています。座禅ではなぜ木の棒で叩くのか、外国人にうまく伝わるように説明するのが難しいそうです。でも、子どもたちなりにやっているということで、これもどうなるか楽しみだなと。

2つ目は、公民館での「ABC DAY キャンプ」。マーティンとブライアンが、ほぼ1日キャンプしながら英語を教えるという講座でございます。これも今年からスタートしたのですが、楽しく子どもたちが参加したと。これで英語に関すること2つ目。

3つ目は、学校で子ども国際観光科ということで、もう一回3年目に当たって、小学校3校で、どういふのをやっていったら一番おもてなし英語が可能なのかということを含んで研究するというようなことを立ち上げ、さらに充実した子ども国際観光科になるように今やっているところです。

それから、もう一つは、夏祭りに向けて、教育委員会で小学校3年生から中学校3年生まで、大漁唄い込みを教え込みました。今度の海の盆どうなるか。来ていただければいいなと思いますので、公民館のほうでも、盆踊りの講習会で側面から支援し、バックアップしてくれるということで、英語で盛り上がり、盆踊りで盛り上がっている夏休みになっているのではないかなと思っておりますので、そういうのをご理解いただきながら、どうぞひとつ今日また教育委員会、ご発言いただければと思います。以上です。

2. 前回委員会の議事録の承認

〔金津主査〕ありがとうございました。続きまして、2番、前回委員会の議事録の承認について、6月臨時会及び定例会の議事録について、配付のとおり承認ということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

定例会終了後に署名をお願いいたします。

3. 議事録の署名委員の指名

〔金津主査〕続きまして、3番、議事録署名委員の指名になります。今回は鈴木委員と佐藤委員にお願いさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

4. 報告事項

(1) 一般事務報告

〔金津主査〕続きまして、4番、報告事項に移ります。

1番、一般事務報告について、初めに学校教育班から報告をお願いします。

〔松村班長〕はい。それでは資料1ページになります。

行事報告からご説明いたします。

7月8日、内海教育長の辞令交付式がありました。任期は令和6年6月27日から令和9年6月26日までとなります。

9日、宮城県町村教育長会の第1回役員会が自治会館で開催されました。

10日から12日にかけて、議会教育民生常任委員会の視察研修として兵庫県宍粟市及び香美町に教育長が同行しております。

11日から12日にかけて、東北六県市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会が山形県を会場に開催されました。出席されました委員の皆様ありがとうございました。

19日に小中学校、幼稚園で第1学期終業式が行われ、翌20日から夏季休業に入りました。今年度は8月25日日曜日までの37日間となっております。

20日土曜日、中学校吹奏楽部の地区大会が石巻市で開催され、銀賞を受賞しております。

21日から25日にかけて、県中学校総合体育大会が県内各会場で開催され、松島中学校からは、柔道、バドミントン部及び水泳に個人各1名と、マリソル松島が団体として出場し、柔道個人73キロ級に出場しました2年生男子生徒が見事優勝し、8月4日から6日に福島県いわき市で開催されます第47回東北中学校柔道大会及び8月20日から23日に長野県佐久市で開催されます第55回全国中学校柔道大会への出場を決定しております。

なお、バドミントン部の個人1名は怪我のため棄権、水泳の個人1名は100メートル自由形で第8位、200メートル自由形で第5位、サッカーのマリソル松島は2回戦敗退となっております。

24日、こども英語ガイドのオリエンテーションを行っております。期間は8月9日金曜日までを計画し、全10回の開催を予定しております。本年度も松島を紹介する動画を作成する予定としており、小・中学生14名が参加しております。

行事報告につきましては以上となります。

引き続きまして、資料の2ページの主な行事予定についてです。

7月29日、宮城県教育委員会・市町村教育委員会教育懇話会圏域別会議が県庁を会場に開催されます。内容は、授業力向上、不登校児童生徒の支援についてとなり、内海教育長及び鈴木職務代理者が出席予定となっております。

8月2日、市町村教育委員会研究協議会が仙台国際センターを会場に開催されます。内容は、不登校・いじめ対策、部活動の地域連携や地域クラブへの移行、地域と学校の連携協働についてとなりまして、内海教育長、鈴木職務代理者、櫻井委員が出席予定となっております。

8月9日から18日にかけて、学校閉庁日となります。

21日、町教育講演会を文化観光交流館を会場に実施予定となっております。幼稚園、小中学校、保育所及びこども園の先生方を対象に、「わかる・できる授業とその土づくり」を演題とした講演会を実施する予定としております。

また、資料に記載しておりませんが、先ほど行事報告で申し上げましたとおり、8月4日から6日に福島県いわき市で開催される東北中学校柔道大会及び8月20日から23日に長野県佐久市で開催される全国中学校柔道大会へ松島中学校2年生の男子生徒が柔道個人73キロ級に出場いたします。

学校教育課からは以上となります。

〔金津主査〕 続きまして、学校給食センターからお願いいたします。

〔熊谷所長〕 それでは3ページ目をご覧ください。

学校給食センターの行事について報告いたします。

7月3日に学校給食会を実施いたします。米飯委託業者への立入検査がございまして、本町の委託業者であります、大崎市古川にありますきゅうせい堂の検査に同行してまいりました。施設内は清潔に保たれまして、衛生管理が行き届いていることを確認できました。

4日、16日につきましては、栄養教諭による食育指導を第五小学校と第一幼稚園で実施いたしました。栄養バランスの取れた食事についてや、食べること、飲むことの大切さについての話を子どもたちは興味深く真剣に聞いていたということでございました。

18日は第1学期最後の給食提供日でございました。

続きまして行事予定についてですが、7月29日、来週の月曜日ですが、松島町学校給食センター運営審議会を役場大会議室で開催する予定となっております。

8月7日に東北森永乳業株式会社仙台工場におきまして、見学会と緊急時の対応等についての協議を行うため、千葉次長と栄養教諭と私の3人で参加する予定となっております。

8日は町議会教育民生常任委員会によります給食センターの施設見学の予定となっております。

26日、27日と、順次第2学期の給食提供を開始してまいります。

以上となります。

〔金津主査〕 それでは、学校教育班及び学校給食センターの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

佐藤委員

はい。無事に夏休みを迎えられるということで、内海教育長先生、それから千葉次長さんはじめ、皆様のご尽力のおかげです。本当にありがとうございます。

私のほうからは4点、感想というか、感じていることと、あと1点お聞きしたいこととお話しさせていただきます。

感想の1点目は、素敵な姿があったなというところで、ホームページのほうから子どもたちの様子を拝見させていただいているんですけども、まずそこに映し出されているのは、幼稚園か

らきちっとした姿で話を聞いているんですね。聞いている姿、それから立ち姿だったり、それが堂々としているなということと、それから環境美化ということで、お掃除なんかも丁寧にされているということが、まさに小さい幼児教育からきちんと松島町はされているんだなということにすばらしさを感じています。

あと2点目が重視されている教育ということで、子ども国際観光科で、特に英語教育ですね。それから、まさにタブレット端末でICTの活用等々も重要だということで叫ばれているところですので、そういったこともきちんと組み込んでいただいて実際に教育がなされているということに、とてもすばらしいな、いいなという思いがしております。

感想の3点目なんですけれども、給食の食材についてです。こちらの予定献立表等々いつも拝見させていただく中で、松島産たまねぎなど地元食材を使っているということのよさというのが非常にあるというふうに思っています。生産者の方もそうなんですけれども、子どもたちにとっても、松島の物を食べて成長しているのだということが、とてもよいことだと思っています。

最後4点目ですけれども、歴史と文化の継承ということで、先ほど皆様で大漁唄い込みをご指導されたということが、とてもいいなと感じました。やはり松島ならではの、松島のもの、歴史と伝統を確実に未来を生きる子どもたちにつないでいくことの意義というのはとても重要だと思っていますので、これから引き続き何かとご尽力よろしくお願ひしたいと思ひます。

最後にお聞きしたいこと1点、英語ガイドオリエンテーションについてお聞きしたいと思ひます。子どもたち、どんな様子でやっているのかとか、あと指導方法として、こんなところご工夫されているということがおありでしたら、お聞かせ願ひえればと思ひます。よろしくお願ひいたします。

千葉教育次長 それでは私のほうから。オリエンテーションなのですが、町長のほうから子どもたちにまず激励の言葉と、あと名札を町長のほうから直接かけてもらって、子どもたちも緊張しながらスタートしております。

そして中身なんですけれども、ALTのブライアン先生とマーティン先生に指導のほうをお願いしながら、実際、教育長お話しのとおり、昨日から活動を始めまして、まずは撮影をしているところです。特にブライアン先生が機材に関する知識がすごくある方なので、今後は撮った動画に子どもたちのナレーションを入れて編集するという作業を、子どもたちに教えながら進める予定です。

何回か参加している児童生徒さんもいらっしゃいますので、中学校のお兄さんお姉さんが下の子の面倒を見ながら、すごくいい雰囲気ですスタートしたところでございますので、また引き続き暑さに気をつけながら、みんなでいい作品を作って紹介したいと考えております。

以上でございます。

佐藤委員 毎年楽しみにしております、まさに松島町を世界に発信する大切な映像ですので、どうぞ今後ともご指導よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

内海教育長 それで、今日も隣で活動しているので、定例会が終わったら少し見ていただいてもいいのかなと思っております。

それから、幼稚園の話で、佐藤委員さんのほうからお話あったんですけど、幼稚園も、全国初の幼稚園の歯の指定を受けて、一生懸命取り組んでいて、かなり評価の高いことをやっているし、もう一つは、幼稚園の先生方がこの子たちにたくさん本を読ませたいということで、放課後本を持って行っていいよということで、持っていきたい子どもは二、三冊持っておうちで本を読んで、また次の日返すというようなことを繰り返しています。ただ、持っていく保護者は10人程度なので、そんなに爆発的には増えないんだけど、どうも下の子がいると壊してしまったり、何か二の足踏んでいる人もいますんですけど、それはそれとして読みたい心を抑えないようにさせていただきたいということで、今取り組んでいるところです。

それから、永沼先生のリードで、保育所、幼稚園、認定こども園のこの3つと、あと小学校の低学年1年生で連絡協議会を設置して今年から緩やかにスタートするということになりました。幼稚園でやったこと、それから保育所でやったこと、認定こども園でやったことがばらばらだと、最終的には小学校に入ってくるときにばらばらなわけで、できるだけそれをうまく調整できればいいかなと。また、先生方のスキルアップになればいいのかなと思ひます。どうしても小学校、中学校の話題が中心になってしまうのですが、幼稚園も面白いことをやっていますので、こ

れからまた発信していきたいと思います。

以上でございます。

櫻井委員

7月に中学校で合唱コンクールがありまして、中学校に見に行かせていただきました。去年まで秋だったものを7月にやったので、どういう感じになるのかなと思っていたのですが、みんなどの学年もチームワークよく、円陣組んだりして歌って、すごくチームワークよくなっていたので、見ているほうも楽しく、子どもたちも楽しんで、とてもよかったです。どうもありがとうございました。

鈴木委員

聞き逃してしまったのですが、来月21日の町の教育講演会。この対象はどういう方ですか。子どもたちを集めるのですか。

松村班長

いえ。こちら幼稚園、小中学校等の先生方を対象としています。

内海教育長

それで、この講演会の講師は東北学院大の佐藤正寿先生にお願いしてまして、正寿先生が得意なのが、学習規律や授業の腕を上げるということで、町内の学校でも随分きちんとした態度で授業はしているんですけども、さらにきちんとした学習態度で臨めば、さらに学力も上がっていくのではないかなということで、指導力向上のノウハウと、それから学習規律を内容としています。義務教育というのは、いろんな人にも私言っているんだけど、鉛筆を持ちなさいという、持ってもらわないと始まらないし、教科書を読みなさいといって読んでもらわないと始まらない。そういうことがきちんとできて先生方と正対できるような子どもたちということ。もちろん子どもだけしっかりやるんじゃなくて、先生方も教師規律というか、言葉遣いや板書の仕方など、腕を上げてほしいなと思います。幼稚園の先生とか、保育所、認定こども園の先生にも声掛けしていて、小学校、中学校ではこういうことをやるんだということを知ってもらって、小学校1年生に送ってもらえればいいなと思っています。

ちなみに、去年は発達障害の子が多いということで、東北福祉大の先生に2年間、発達障害のお子さんに対してどういう取組をしていったらいいのかというような勉強会、講演会をしたところでございます。以上です。

鈴木委員

とても良いですね。授業の態度、仕方ですね。とても素晴らしいです。

内海教育長

ありがとうございます。

〔金津主査〕 それでは続けさせていただきます。生涯学習班からお願いします。

〔蜂谷課長〕 はい。生涯学習班の齋藤班長ですが、本日B&G東北ブロック交流事業ということで、登米市に出張しておりますことで、私のほうから代わりに説明させていただきます。

それでは、生涯学習班の行事報告について説明いたします。

4ページ、ご覧いただきたいと思います。

6月に引き続き、7月も3日、5日、11日に松島まるごと学の授業を行いました。各小学校6年生が歴史学習として、松島の誇る重要文化財、国宝瑞巖寺に関して事前学習、それから見学学習を行っております。児童たちですが、自分たちが住んでいる町に瑞巖寺という貴重な文化財があることに対して、改めて興味・関心・誇りを持った様子でございました。

7月7日に第2回松島町社会教育委員の会議を松島町野外活動センターで行いました。初めて会議を休日に開催いたしました。8名の社会教育委員に出席していただきまして、ジュニア・リーダー育成事業、この日は野外炊飯研修でしたが、こちらを視察していただきました。様々な目線から意見をいただきましたので、今後のジュニア・リーダーの活動に生かしていきたいと思っております。

続きまして、行事予定について、主な内容について説明させていただきます。

7月29日にまつしま放課後子ども教室、三校合同イベント「SUP体験」を温水プール「美遊」で開催いたします。B&G海洋センター所長を講師として、美遊スタッフ5名の協力をいただきながら、安全に配慮して、3年生以上で、かつ泳げる児童を対象に募集したところ、22名の申込みがありました。夏休みの思い出の一つとなるような体験会にしたいと考えております。

次に、8月8日、9日の2日間にわたり、夫婦町の秋田県にかほ市との中学生リーダー研修会を行う予定です。当町から松島中学校生徒会役員10名がにかほ市を訪れ、市内3校の中学校で選出された生徒会12名と合同研修を行ってまいります。研修内容につきましては、にかほ市教育委員会小園教育長の講話や、仁賀保高校生徒とのグループワークを行う予定としております。この研修を通しまして、経験し、得たことなどをレポート形式にして校内掲示やお便りなどに掲載して、在校生への紹介、フィードバックしたいと考えております。あと、内容につきま

しては、今、雨災害でにかほ市も被害が出ているということもありましたので、その辺については、この後調整させていただきたいというふうに考えております。

生涯学習班の行事報告、行事予定につきましては以上となります。

〔金津主査〕続きまして、町史編さん室からお願いいたします。

〔森田室長〕はい。町史編さん室は資料5ページからとなっております。

行事報告ですが、7月24日水曜日から昨日25日木曜日まで、全国史跡整備市町村協議会東北地区大会として、横手市のほうに課長と私で2日間伺いました。東北地区の史跡を有する自治体から四十数名ほどの参加者がありまして、水曜日は講演会と研修会、25日、昨日は実際に史跡のほうの見学会が予定されておりましたが、天候が災害級の雨ということで、横手市さんも災害対応のほうで手一杯だということだったので、自主研修という形で、資料館だけ見学して帰ってまいりました。

行事予定に関しましては、8月7日水曜日に第3回のボランティア養成講座を計画しております。こちらは東北歴史博物館の方で文化財保護員さんにもなっていたいただいている方ですが、その方を講師に招いて、民俗資料の調査についての資料をいただきながら実際の作業をしていきたいと思っております。

報告は以上です。

〔金津主査〕続きまして、中央公民館からお願いします。

〔赤間館長〕はい。6ページをご覧ください。行事報告になります。

7月13日、「みんなの天文教室」ということで、13名の子どもたちが参加しまして、パレット大崎のほうに行っていました。

続きまして、7月20日土曜日ですけれども、本日お配りした資料のほうにも写真のほうございますけれども、「WINDまつり～夕涼みお話し会～」というので、読み聞かせ団体の「おはなしあっぷる」さん、それから「おはなしころころ」さんのほうから読み聞かせのほうをしていただきまして、また「ピノ・イ・ソラ」という団体さんのほうに音楽会、また子どもたちのために縁日コーナーということで、3部構成として実施させていただきました。約60名の参加がありました。

次に、7月23日ですが、「ABC DAY キャンプ」、こちら16名の参加ということで、本日お配りしました資料のほうで内容等見ていただければと思います。

同じ23日、夜になりますけれども、移動天文車「ベガ号」が仙台市天文台から来ていただきまして、町民の森にて天体観測を行いました。約40名の参加でございました。

次に、行事予定でございます。

7月27日土曜日ですけれども、今年度の文化観光交流まつりを開催するに当たりまして、第1回の実行委員会を開催する予定となっております。

同じく27日ですけれども、盆踊り講習会ということで、こちらのほうも大漁唄い込みをメインとした踊りの練習会を実施する予定となっておりますので、子どもたちが喜びそうな工作遊びと縁日広場を同じくやる予定となっております。明日でございますので、ぜひよろしかったら参加してください。

次に、31日ですけれども、「伝え人から学ぶ みんなでつくろうおいしいランチ」ということで、こちらは宮城県の事業で毎年実施されているものでございます。今のところ10組の親子が参加予定となっております。

8月4日日曜日ですが、「夏の冒険～第一章～」というので、こちら毎年やっておりましたころ・はぐくみ隊事業が生涯学習班のほうから公民館事業として初めて実施されるものとなっております。町民の森で、第3回開催予定で、ものづくりやいろんな体験ができる、自然体験ができるように今準備しているところでございます。

以上でございます。

〔金津主査〕それでは、生涯学習班、町史編さん室、中央公民館等からの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

佐藤委員

はい。2点質問させていただきます。

まず、町史編さん室のほうですが、横手市に行って資料館をご覧になったということでしたけれども、こちらにつきまして何か印象的なものだったり、お心に留まったものとかございましたらご紹介いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

森田室長

はい。横手市が史跡整備に力を入れているのが後三年の役、平安時代の源義家と地元の清原氏、安倍氏の争いについての資料がありまして、資料館の中にも展示がありました。ちょうどそれに関する遺跡が国史跡になっておりまして、その調査が大分進んできて、今後どうやって整備していくかということで、映像や出土遺物を見せたり、という話が前日の協議会でもありました。

あと特徴としてすごいのは、やはり絵巻物で描かれているということで、後三年の役の絵巻物があって、その絵画史料と古文書と実際の発掘史料と3つそろっているのはなかなかないと。しかも、平安時代というのはなかなか遺跡としてあまり見つかっていない時代のもので、そういったところが特徴だということで、PRしていきたいと。さらには、関連する自治体との連携を強めていくという話がありまして、例えば、その後の戦いで勝った奥州藤原氏が平泉をつくるという形で歴史のつながりがあるので、そういったところも含めて、歴史的に関連がある自治体との連携活動を強めていくという話を伺いました。松島はその時代というのはあまり直接の関係はないんですけども、色々考えさせられました。

佐藤委員

森田室長さんありがとうございました。

それでは、もう一点は中央公民館さんのほうにお聞きしたのですが、本日頂戴したこの写真が、子どもたちとても楽しそうに参加している様子で、笑顔が溢れていて、とてもいいなと感じました。

それで、ネーミングのことなんですけれども、WIND まつりとか、ABCDAY とか、何かわくわくするようなネーミングだなと、とてもいいなという思いがしておりますが、こういったネーミングはどうやってお決めになるのか伺いたいです。

赤間館長

職員のアイデアで決めております。

佐藤委員

やはりネーミングで参加したいなとか、やってみたいなというふうな子どもたちの意欲とか興味関心も、その時点でまず高めていращるなという思いがしております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

鈴木委員

まるごと学、すごいですね。事前に学習して座禅したり見学すると。チェーンソーの体験であったり、西浜貝塚を学習したり。これは年度当初に松島まるごと学の推進委員会などで大体スケジュール決めるんですよね。本当はちょっと我々にも今年はこの計画なんだよというのを示してもらったほうがいいのか。

蜂谷課長

事前に、年度当初の推進員会議を開くあたりにお知らせするようにします。

鈴木委員

終わってからこういう報告もいいんですけど、事前に。（「分かりました」の声あり）何かという、これは地域の方々の協力ができないんですよ。事前をお願いに行って、教育委員会として心から感謝の気持ちを伝えないといけないものなので、後で終わってから聞くのはどうなのかなと。（「そうですね」の声あり）それをちょっと今感じました。生まれたところの地元知る、地域を知る、現場を知る。これは相当子どもたちへの効果がありますよね。まるごと学、整ってきていますけれども、もう少しきっちりとしたほうがいいような感じがするなと思っておりましたので、お伝えしました。

蜂谷課長

ありがとうございます。

(2) 教育長報告

〔金津主査〕続きまして(2)教育長報告について、内海教育長お願いいたします。

〔内海教育長〕はい。教育民生常任委員会という議員さんたちの集まりがあって、その中で給食のことについて今年度は研究していこうということで、兵庫のこれは宍粟市(しろうし)と読むんですけども、宍粟市と香美町に行って給食についての勉強会をしてきました。私なりに感想をまとめたので、少し長いので端折りながらいきます。

宍粟市の学校給食については、3つのセンターがあって、これ合併した影響でセンターを残したと。ただ、どのセンターにも栄養教諭がいるということなんです。栄養士ではなくて栄養教諭がいるということです。

それから給食の単価、ご覧になっていただくと、松島も書いたんですが、小学校比べると30円の違いですね。中学校も30円。でも、後でよく分かったんですけど、これは相当な金額を注入して、給食費を下げているという形になってきます。

宍粟市は、こういうような看板を挙げております。③です。「『宍粟』を食して『宍粟』を潤す」と。つまり丸ごと宍粟で賄いましょうという感じです。ですから、ここ酒粕で有名なんですね。そういうのも給食に積極的に出して、一番下に、酒粕で作った給食が全国学校給食甲子園2022年優勝ということになっています。

それから、鹿の肉も出していると。それから、アユ・アマゴも年3回給食に出すと。ただ、このアユとかアマゴの骨は、給食センターで1本ずつ取るのだそうです。

それから、米は、特別栽培、化学肥料・農薬5割以上低減した残留農薬検査国基準の10分の1、だから国基準に

したよりさらに低い値で、そういうお米も食べさせているということでございます。

右に行きます。香美町です。香美町も、これも2つの給食センターがあるのですが、ここにも栄養教諭がちゃんといまいます。栄養教諭というのは、学校に行って授業をやるということができるといえる人です。栄養士だと担任がついていないと授業できないのですが、栄養教諭は1人でもできるという、それがきちんとついているということ。

ここも、学校給食と言わないで「ふるさと給食」、つまりふるさとの食材を全部使い切りましょうということで、後でお話ししますが、ふるさと給食推進委員会という組織がいろんなことを考えていくということで、ここにはJAたじまや漁協が入ったり、流通団体、個人生産者とかが入って、9名あたりで設置して、子どもたちの学校給食はこういうほうがいいんじゃない、ああいうほうがいいんじゃないとかということで、献立の検討したり、こういう食材を使ってあげたらいいんじゃないと検討していくということになります。

(2)の③、一番下です。町内産使用の割合が、平成24年では16.6%だったんだけど、令和5年には31%まで町内産が上がっていったということでございます。ちなみに、松島はというと、令和4年には19.8%と、ちょっと下がってきますけれども、令和3年度は26%です。

10ページをご覧ください。

この香美町も、毎月1回魚を提供して、毎月1回ですよ。干しカレイとか、アジとか。それで、教育委員会だけではなくて、農林水産課というところからも助成してくるといえることです。

各学期1回、但馬牛肉ご飯、但馬牛すき焼きとかが出てきています。

そして最後に、11回学校給食甲子園、香住学校給食センター、兵庫県代表になったということで、何位になったかは分からなかったのですが、そういうような優れている2つのセンターを見させていただきました。

11ページをご覧ください。

行政視察の感想ということで、メリットは3番目に書いておきました。

これはどこでもそうで、大体総じてこうです。新鮮な食材が利用できる。生産者の顔が見える。収穫など児童生徒も関わることができる。ただ、この2つの町ではあまり関わってはいないですね。栄養教諭たちが説明するということ。

あと、減農薬、減化学肥料栽培等々、メリットはたくさんあるんだけど、デメリットとすれば、これも予測されたことなんですけれども、まず上のほうのまとまり。量がそろわない。種類が少ない。要するに、4,000食だの何千食となったときに、地元産ではとってもしろわない。

それから、下にも書いてあるんですけど、大きさ、形が不均一。つまりそろっていない。そろっていてもやればいいんですけど、調理の段階で非常に難しくなるということ。

それから、大量生産が難しい農家にとっては、どうしても価格が高くなるというようなデメリットがある。これも予測されることで、やっぱりそうだろうなと思っているんですが、次のページをご覧ください。

これについては、地産地消を維持するために毎年経費がかかっているということ。1食分の給食費は安いものの、別な意味ではかなりの金額を税金で賄っているという形になってきております。

それで、6番目のほうに行きたいと思います。

学校給食の地産地消を受け入れるためにということで、もしこういうことを徹底的にやるんだらと思って、刺激になったのですが、ふるさと給食推進委員会のような、先ほど言ったように、JAたじまとか、漁協とか、そういう人たちが集まった団体で考えていただくということと、もう一つは、地産地消を推進するリーダーやコーディネーターがいること。学校給食の栄養教諭さんと農家をつなぐコーディネーター。例えば、作付時期や、作物が育って給食に使える時期を栄養教諭さんに伝えるなど。そういうコーディネーターがいるから結構やれるんです。コーディネーターがいないと、栄養教諭さんがあっち行ったりこっち行ったり、跳ね回っていかないと駄目なんですという話で、なるほどなと思いました。そういう間を支えてくれるコーディネーターが必要だということでした。

それで、7番目、例えば栄養教諭さんが1人でやるとなると、自分の仕事のほかに、作付時期の確認や必要な量の確保や天候不順に対してどう対応するかとかというのを1人で考えていかないといけない状況に陥るので、やっぱりコーディネーターとか、そういう人たちの支援があるとやりやすいかなと思って帰ってきました。

8番目は、栄養教諭の真の役割ということで、バランスガイドに乗っ取って献立を考え、摂取基準も満たさないといけない。大変な仕事だなと思いました。

それから、14ページの10番にある松島の地産地消への取組ということで、松島も、さっき佐藤先生が松島産たまねぎのことをおっしゃっていましたが、松島産、あるいは宮城県産と、多分生産量の関係で広げたりしながら、地産地消を頑張っているんだなということが私も改めて分かりました。

それから、お米についても、環境保全米のひとめぼれ1等米を使っているとか、こういう安全・安心に配慮して

いると。

それから、国内産小麦100%のパンを提供していると。これは地産地消でなくても、こういうような安全に裏付けられたものを食べるというのがいいのではないかなと。

地産地消の中にも出てきたのですけれども、衛生的に大丈夫かなというのものもあるそうです、葉っぱとか来たときに。かえて、大量に仕入れたものでしっかりした品質のものの方がよかったりするそうです。そういうことも含めると、無理にこうやって地産地消に特化していくのもどうなのかなと。

それから、もう一つ、昼間だけで食で完成させていいのかなと。子どもたちというのは、朝も、どういう食を食べているのか、夜もどう食を食べているのか、やっぱりトータルに考えていかないと、給食だけこうやってやってもどうなのかなとか、これは私の個人的な感想です。そういうのも含めて、ここには書かなかったのですが、どうなのだろうなと思いつつ帰ってきました。

それから、15ページ、食物アレルギーですね。

香美町では完全に分離しています。食物アレルギーの給食センターと、それから通常の子どもの食べる給食。同じ屋根にあるのですけれども、食べた食器なども絶対一緒に洗わないと。野菜は野菜で別に来ると。そして、学校に行くと、こういうボックスで、子どもたちの前に置くという。要するに、ほかの給食の皿とかと混じらないとかということで、これを造ると給食センター2つぐらい必要だという話になるようになっていますが、財源的なこともありすぐすぐまねることもできないのですが、私なりに非常に考えるところはたくさんあったので、これを参考にしながら、あと熊谷所長さんと、あるいは栄養士さんと、できることから話し合っていきたいなと思っております。

そして17ページ。妊婦さんは魚を摂取したほうが良いという記事が新聞にありましたので添付しました。

私のほうからは以上です。少し長くなりましたが、よろしく願います。以上です。

〔金津主査〕ありがとうございました。それでは、ただいまの教育長からの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

5. 協議事項

- (1) 令和6年度（令和5年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告書に係る教育に関し学識経験を有する者の知見の活用について

〔金津主査〕続けさせていただきます。5番、協議事項に移ります。

1番、令和6年度（令和5年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告書に係る教育に関し学識経験を有する者の知見の活用についてでございますが、報告書の意見書を今年度も元教育委員の小学校の校長先生をされておりました佐藤実さんをお願いしたいと考えております。

なお、原稿につきましては、現在最終で作成中でございましたので、近日中に委員の皆様へ報告書をお送りさせていただきますと思いますので、校正をお願いいたします。

改めまして、学識経験者の意見書は佐藤実さんに依頼ということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。よろしく願います。

- (2) 令和6年8月定例会について

日程案：令和6年8月30日（金）午前9時30分 松島町役場3階 303会議室

〔金津主査〕(2) 令和6年8月定例会について、日程案につきまして、8月30日金曜日、午前9時30分から、役場3階303会議室で予定しております。こちらの日程でよろしいでしょうか。（「よろしく願います」の声あり）

〔佐藤委員〕すみません。私は欠席させていただきますので願います。

〔金津主査〕最後に全体を通しましてご質問等ございますでしょうか。

6. 閉会 午前10時41分

〔金津主査〕それでは令和6年7月定例会を閉会いたしますので、閉会の挨拶を鈴木教育長職務代理者より願います。

〔鈴木委員〕はい。夏休みに入って、先程教育長がおっしゃられたように、子どもたちが元気にまた出てくることを期待しています。そしてまた、今さっき教育長のお話なんですけれども、学校給食ですよ。地産地消がいんですけれども、やっぱりできることからでしょうね。極力努力して、町、市自体もそれにバックアップしているという姿は、これはすごいなと。なかなかできないけれども、すごい取組をやっているなと思います。

私も、ちょっと余計なことですけれども、見てきているのが、町のエネルギーというか、灯油とか外国から石油とか買わないで、全部自分の森林で発電するんですよ。それと同じように、そして、そこで誇りを持って発信していくという思いにつながっているなど。地域の産業を入れたりして。あとあわせて、それを子どもたちも十分理解して、そこでは何か森林に子どもたちもみんな行くということで伺って、それとつながっているななんて思いました。それと、体で体感していくんですよ、子どもたちって。だから、とても素晴らしいなと思いました。ぜひ松島もそういうような子どもたちが育っていく取組をやっていただきたいなど。よろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございました。

〔金津主査〕以上をもちまして定例会を終了いたします。ありがとうございました。

この会議録の作成者は、次のとおりである。

教育課学校教育班 主査 金津 晶子

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

令和6年8月30日

委 員

委 員